

学校支援活動事業訪問

桑折町訪問【桑折町立睦合小学校】

訪問日：平成29年12月12日（火）9：30～10：30

場所：桑折町立睦合小学校

内容：1・2年「むかしあそびをしよう」での学習支援ボランティア

本時は、町内在中の9名のボランティアの方の協力により、昔遊びを体験する授業でした。ボランティアの方々は、めんこ遊びや紙飛行機作りなど9つのブースに分かれ、子どもたちの体験活動の支援を行いました。子どもたちは、事前に決められたローテーションに沿って、それぞれのブースで15分ずつ、昔遊びを体験しました。ボランティアの方々のきめ細やかな支援により、どの子どもも目を輝かせて体験活動に取り組んでいました。ボランティアの方々も、子どもたちの素直な反応や明るい笑顔に、目を細めていました。



【校長先生の声】

地域に開かれた学校をめざし、様々な人とのふれ合いを大切にしていきたいです。教師と違う大人が学校に入ることによって、子どもたちは人との接し方を学ぶことができると考えます。また、ボランティアの方々との打合せの時間をなかなか確保できないので、町のコーディネートは大変ありがたいです。

【ボランティアの方の声】

子どもたちが楽しそうな表情で活動している姿を見ると、自分たちも楽しくなります。子どもたちを喜ばせるために、もっと研究してみようという気持ちになります。今回は、子どもたちの笑顔が見たくて、ひっくり返しやすいうちに、めんこの厚さや反り具合を改良してみました。

【体験した児童の声】

- ・ はねつきを初めてやりました。楽しいので、休み時間もやってみたいです。
- ・ めんこはゲームをするより楽しいです。いっぱいひっくり返すことができました。
- ・ 自分が作った紙飛行機が、飛ぶのが楽しいです。もっと遠くまで飛ばしたいです。
- ・ お手玉をやったとき「上手だよ」ってほめられました。嬉しかったです。

それぞれの話の内容に、学校支援活動を持続可能にしていくためのヒントが含まれていると思います。子どもたちやボランティアの方々の表情を見ると、人と人との温かいつながりによって、満足感や充実感、自己肯定感などが湧き出ていることが伝わってきました。

桑折町の学校支援活動に対する長年の積み重ねが、学校教育の充実、ボランティアの方々の生きがい、そして何より、子どもたちの笑顔につながっていると感じました。

